

# みんなの 町議会

 神石高原町

第45号  
平成28年1月15日



和太鼓の猛練習中!  
(どんぐり幼稚園の子ども達)

- 新年のごあいさつ (藤田晃己議長) ..... 2
- 町政のここを聞く (一般質問) ..... 5
- ありやあどうなったん (追跡記事) ..... 15

# で可決



## 新年のご挨拶

平成28年の年頭にあたり、町民の皆さまにおかれましては輝かしい新春をお迎えのことと思います。日頃より神石高原町議会に対して、深いご理解とご協力を賜り心より厚くお礼申し上げます。

昨年は世界各地でテロ事件が続発し、平和を愛する日本国民にとって、憂慮すべき状況です。日本に於いては、今後、伊勢志摩サミットをはじめ外相会談、4年後には東京オリンピックなど予定されており、重大事件が発生しない事を祈るばかりです。

日本経済も緩やかな回復基調にはありますが、中山間地に位置した神石高原町には、まだ恩恵もなく、むしろTPPの大筋合意により不安材料がいつぱいです。

## 次期選挙から議員定数12人

### 具体的な理由

- ① 議会の権能を強化し、議会活動を活発に行うには、常任委員会の活動が重要である。定数12人で現在の3常任委員会を維持する事が可能である。
- ② 地域代表として、地域の声を反映させるためには定数12人が最小限の数である。

- ③ 各団体や地域の声を集約すると、定数12人が妥当であるとの声が多くあった。

今後、人口の減少や財政状況の厳しさが予想されるが、神石高原町議会としては、12人の議会構成で資質の向上を図り、議会活動を活性化し住民の負託に応えていきたい。

合併後12年目を迎えた今日、人口減少に歯止めをかけ、若者が安心して暮らせる町づくりのための施策が喫緊の課題であります。企業誘致、起業家の育成、トマト・ぶどう・和牛などの企業的農家の育成も大切ですが、議会としても積極的な提案をしてまいりたいと思っております。

今年11月末には議会議員の選挙も予定されており、議員定数も14人から12人に削減致しました。若い人の積極的な挑戦を期待しております。

町民の皆さまのご多幸を心よりお祈り申し上げます、年頭のご挨拶と致します。

神石高原町議会議長 藤田 晃己



# 議員定数2減の12人

## 町長に特別職報酬審議会の開催を要請

定数については2人減、報酬については、引き上げをすることが望ましいと判断し「神石高原町特別職報酬等審議会」で、議員の報酬について審議のお願いをした。

## 12月定例会

### 平成27年12月一般会計補正予算

補正予算額 3億3002万円  
補正後予算額 103億1640万円

12月定例会は、12月7日から18日まで開かれ、平成27年度補正予算など、11議案を慎重審議した結果、いずれも原案どおり可決しました。

一般質問は9人の議員が町政の課題についてたどしました。

また、議員発議として、議員定数の改正案を提案し、2人減の定数12人とする事を全会一致で可決しました。

## おもな事業

### ☆遊休財産解体処分

(旧油木中学校校舎・寄宿舎・給食室・技術室等)  
9742万円

### ☆やすらぎ苑施設経費

(祭壇・棺台・神式用具一式)  
100万円

### ☆井関地区 交流センター(仮称)整備(備品購入等)

120万円

### ☆トマト選果場トイレ改修工事

186万円

### ☆豊松小学校給食共同調理場の指定管理に向けての改修工事

348万円



# 補正予算の ここをチエック

## 補正質疑

### 総務課

#### 跡地利用

松本議員 旧油木

中学校校舎の跡地利用は。

総務課長 地域の検討委員会で協議されている。駐車場・更衣室などの案がでていますが、具体的には今後地域の検討委員会と協議して決めたい。

#### マイナンバー

木野山議員

マイナンバー制度は、なぜ町負担なのか。交付税措置はあるのか。

対応した。

### ふるさと

#### 応援寄付金

片山議員

総務課長 町単独のシステム改修なので補助金はない。特殊事情などで対応できないか確認する。

#### まちづくり推進課

#### 総合開発特別会計

木野山議員

財産収入を繰入金にした理由となぜ12月補正なのか。

まちづくり推進課長

販売が見込めない状況があり、歳入不足を補うため基金の繰入で整理した。特に集会所の工事などの支払を含め財源の確保が必要で早め

いることが原因。

### 地域おこし協力隊

横尾議員

新規に起業を目指す地域おこし協力隊への支援の補正とは。

まちづくり推進課長

卒業する地域おこし協力隊員の起業のための支援。

具体的にはこれから詰めていく。

### 環境衛生課

#### 野犬捕獲

片山議員

野犬の横行に悩まされている。小島の町中にも現れ、こどもの中には、恐怖におびえるものもある。寄付金を野犬の捕獲に使ってもらえないか。

環境衛生課長 野犬の捕獲は、本来県の業

務だが、本町は県と協議して野犬の保護も実施している。先

般も野犬の「餌場」を閉じて5頭保護した。今後

も継続していく。

### 産業課

#### コンバイン購入

橋本議員

農業公社へのコンバイン購入補助の内容は。

産業課長

本年刈取り時期は、圃場の軟弱により機械の故障が多発した。

再起不能と

なったコンバインがあり、新規購入の補助金。

橋本議員

現在大型のコンバインが導入される作業を行っているが、圃場にあつた小型のコンバ

インも必要では。

産業課長 今後検討してみたい。

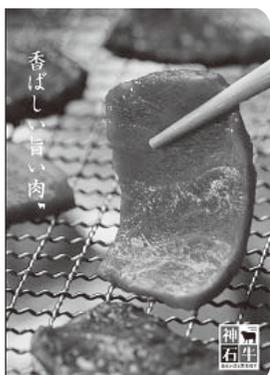
### 福祉課

横尾議員

生活保護扶助費の支援金が増額となっている。

原因は。

福祉課長 医療費の増によるものである。



# 町政の1111を聞く

質疑の一部を要約してお伝えします

質問時間は、答弁を合わせて一人一時間以内で一問一答方式



横山 素子 議員

## 問 新たな有権者の教育は

答 高校生向けに取り組む

**Q** 選挙権の年齢引き下げにともない、新たな有権者に対する一層の周知や啓発が必要と思う。

**A** 町長 成人式の際に、選挙に関するパンフレットや冊子を配り、これまでも若年層へ向けて啓発活動を行ってきた。

今後は油木高校と調整し、高校生向けの啓発に取り組んでいく。

**Q** 小中学生が政治に関心が持てる教育についての考えは。

**A** 町長 政治のしくみや原理については、おもに小学校では社会科、中学校では公民で学ぶ。

教科の学習だけでなく、学校生活のあらゆる場面と家庭や地域社会から学ぶ事によって政治への関心は得られるものと考えている。

**Q** 子ども議会を開いてはどうか。

**A** 町長 実際こういう場所では体験するのも大切である。近隣の市町でも行って

いるので、実施時期なども考慮し、今後検討したい。

### 特殊詐欺被害対策は

**Q** 特殊詐欺被害が年々増加し、特に高齢者が狙われている。

**A** 町長 本町では特殊詐欺被害の実態をどのように把握しているのか。

**A** 町長 消費者相談窓口には10月末で41件の相談が寄せられている。住民団体の会合に出向き、被害に遭わないように広報活動を行っている。

**A** まちづくり推進課長 警察への届け出はされていないが、町内でも被害が出て

る。相談内容は、高齢者ばかりでなく、若年者の相談も増えている。

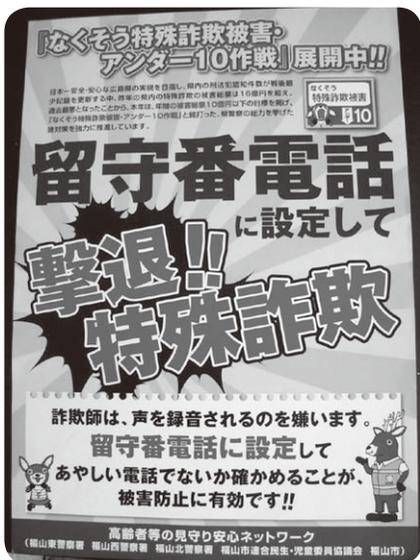
**Q** これ以上被害者を出さないためにも、水際防止が大切だ。警察や金融機関と情報交換などの連携をとっているのか。

**A** まちづくり推進課長 金融機関や警察、さらに福祉・保健課などと連携を強化して、詐欺被害防止に努

めていきたい。

**Q** 詐欺グループの手段としては電話がほとんどだが、会話内容を録音する装置を警察や自治体が主体となって貸し出している所もある。本町でも取り入れたらどうか。

**A** まちづくり推進課長 今後の動向をみて検討していく。



特殊詐欺被害防止の広報

# 問 早期の検討委員会の 立ち上げを

答 来年1月には立ち上げる



横尾 正文 議員

**Q** 旧神石中学校跡地に  
いづみ保育所施設  
の建設をするために

は、早期の検討委員会  
の立ち上げが必要で  
は。

平成28年度中に、特  
別養護老人ホーム神寿  
苑を含めた実施設計を  
するべきでは。

**A** 町長 早期にやる  
べきなので、平成

28年1月に検討委員会  
を立ち上げる。今後の  
整備計画は決定してい

## 空き家バンク

**Q** 空き家バンクの登  
録状況と入居状況

は。

**A** 町長 今年11月ま  
でに町内物件は85

件の登録がある。その  
内の契約成立は60件で  
ある。

入居希望者の登録件  
数は378件である。

また、入居状況は未  
調査であるが、38世  
帯、87人と推測してい  
る。

**Q** 登録に向けた相談  
増加の要因は。

**A** まちづくり推進課長  
固定資産税納付

通知に併せ登録の案内  
をしている。これによ  
り登録の相談件数も増

ないが、事業を進めて  
いく。

えている。

**Q** 自治振興会などが  
らの情報提供や幹  
旋の体制づくりは出来  
ないか。

**A** 町長 地域からの  
情報提供は少な

い。また、自治振興会  
などの住民団体で空き  
家を有効活用する機運  
もあまりない。

**Q** 竹原市は、空き家  
の実態調査を前倒  
しする形で地方創生関  
連の上乗せ交付金の受  
給をしているが、本町  
はなぜ出来なかったの  
か。

**A** 副町長 本町はす  
でに、空き家の状  
況は調査済みである。

特定空き家（特に倒壊  
の恐れや衛生上問題が  
ある空き家）について  
は、これから条例化を

して調査をする。

また、地方創生関連  
の財源を受給すれば、  
特定空き家の調査が出  
来たとの思いはある。

**Q** 体験入居のための  
空き家を町で確保  
できないか。

**A** 町長 利用登録者  
は、日帰りであら

れるか、ながの村など  
の簡易宿泊施設を利用  
している。

町が体験入居のため  
の空き家を整備・運営  
することが必要か検討  
したい。

**Q** 事前の体験プログ  
ラムとして「田舎  
暮らし体験ツアー」が  
実施できないか。

**A** 町長 出来ないこ  
とはないと思う。

今の提案を参考にす



いづみ保育所の発表会



橋本 輝久 議員

## 問 学校給食費無償化を

答 子育て支援策として総合的に検討

**Q** 昨年の12月議会では、小・中学校の給食費の無償化については考えていないとの答弁だった。この1年で、わが町のおかれている課題や状況は大きく変化している。子育て支援策として、無償化に取り組むべきでは。

**A** 教育長 学校給食法に基づき保護者負担とすることが定められている。現在のところ基本的な考えは変わっていない。

**Q** 全国では、学校給食費無償化を実施している市町村もある。人口減少に歯止めをかけるインパクトある支援が必要では。

**A** 町長 人口減少には相当な危機感を持っていて。定住・子育て支援に財政負担などを考え、総合的に検討していきたい。

### 豊松小学校整備

**Q** 豊松小学校は、開校50年近くになり様々な要因によって改修箇所が増えてきている。グラウンド整備及び校舎改修は、平

また、挑戦する姿勢は強く持っている。

**Q** 成28年度中に完了できるのか。

**A** 教育長 調査結果が判明したので、児童が安心して学校生活を送れるよう整備を行う。校舎については、若干詳しい調査をして学校の要望をふまえて、グラウンドの整備とともに平成28年度中に実施し完了したい。

### トマト選果場

**Q** 6月補正で、トマト選果機のシステム改修が行われたが、その効果は。

**A** 町長 改修後は、選果作業中の集計作業が可能となったため、格段の選果業務に要する時間短縮が図れた。

**Q** 選果の能率が上がったわけではない。トマト栽培を推進するのであれば、生産量の目標値を定め計画的に進めるべきだ。生産量向上や労力不足解消に、オートメーション化した選果機をとり入れるべきでは。

**A** 町長 現在のトマト選果場は行政が施設を建設し、管理運営はJ A福山市となっ



給食美味しそう（豊松小学校4年生の児童たち）

ている。今後においては、町営で行ってはいないので、施設更新などはJ A福山市が主体となり行うべきである。現状と同等処理能力の施設更新では、国の補助対象にならない。

### その他の質問

・仁吾川ビレッジハウスの活用を

# 問 認知症予防カフェの送迎は

## 答 地域での対応を望む



久保田 龍泉 議員

### 認知症予防カフェ

**Q** 認知症予防カフェの参加者は高齢者が多く、交通手段がないので送迎ができないか。

**A** 町長 高齢者や地域の人が気軽に参加できるように、送迎がなくても集える地域単位での開催を働きかける。

**Q** 地域単位でもかなりの距離があり歩きの活用や協働支援

センターで送迎などを団体への委託はできないか。

**A** 保健課長 支援センターで取り組まれる場合、委託料は、今はどうなるかわからない。有償ボランティアでの費用は可能だ。町はボランティアを望んでいる。

### 畜産振興

**Q** 若い和牛生産者は、労働力不足のため休むことができず、学校行事に参加できない。和牛ヘルパーの制度化の要請がある。

**A** 畜産クラスター※の組織化で対応できるのでは。取り組み状況は。

**A** 町長 和牛ヘルパーは、和牛改良組合神石支部のみ運用しているが、全町的な取り組みが必要だ。畜産クラスターは組織化

に向け早期の立ち上げが必要である。

**Q** 和牛の増頭が必要であり、その労働力確保のため、和牛生産者を全国に募集してどうか。

**A** 産業課長 町長の指示を受け、受け入れ体制など調整中だ。町のホームページなどで全国に発信していきたい。

### 保育所整備

**Q** 老朽化しているこばたは、くくるみ、くくるみ、くくるみ保育所の整備計画は。

**A** 福祉課長 こばたは、今月を目前に改修費を調査中。くくるみ保育所は旧神石中跡地に建て替え要望があり、神苑の移転要望との調整が必要。

**Q** 跡地全体の平面図、概略設計など新年度予算の対応は。

**A** 福祉課長 改修費の調査中であり、今は答弁できない。

### インフルエンザ費用

**Q** 子どものインフルエンザ予防接種費用は、無料と聞いていたが、値上げされ、病院により無料や一部負担が生じている。その理由は。

### その他の質問

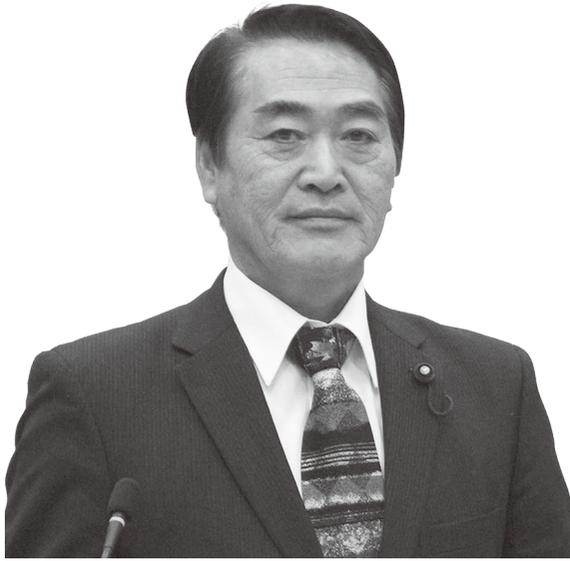
**A** 保健課長 町立病院の接種単価を上限に無料としたが、単価が改定されたため負担が生じた。

- ・小児医療の確保
- ・子どもの学習支援

※畜産クラスターとは地域の畜産関係事業者が連携・結集し、高収益型の畜産を実現する体制



助けあって認知症予防（神石地域）



寄定 秀幸 議員

## 問「ふるさとテレワーク」積極的推進を

答 大いに情報発信したい

**Q** 地方への人の流れを作るには、地方においても都市と同様に働き、学び、安心して暮らせる環境整備を確保する可能性を持つICT（情報通信技術）の活用が不可欠である。

企業や雇用の地方への流れを促進し、地方創生を実現するため、「ふるさとテレワーク」を積極的に推進すべきでは。

**A** 町長 「ふるさとテレワーク」に取り組む光ファイバー網の環境は整っている。田舎暮らしをしながらインターネットを活用した仕事が可能であるので大いに情報発信したい。

**Q** 総務省がモデル推進するサテライトオフィスの取り組みを参考にし、受け皿づくりに取り組むべきでは。

**A** まちづくり推進課長 総務省は、ふるさとテレワークを全国公募型で自治体・企業から募集し、平成27年に15団体が認定された。

神山町では、徳島県が整備した光ファイバーを活用し、東京の企業がサテライトオフィスを開設し、ICT

を活用した取り組みを実施している。

**Q** 空き家、空き店舗、遊休施設などを、サテライトオフィスに活用すべきでは。

**A** まちづくり推進課長 空き家バンク登録を推進し、光ファイバー網整備などPRしていきたい。

### 胃がん対策

**Q** 胃がんリスク検診（ABC検査）とは、ピロリ菌感染の有無と胃粘膜萎縮の程度を測定し、被験者が胃がんになりやすい状態かどうかをA～Dの4

群に分類する新しい検査法であり、採血による簡易な検体検査で特定健診と同時に実施できる。胃がんの早期発

見・早期治療のため、リスク検診を総合健診に導入し、実施すべきでは。

**A** 町長 内視鏡検査やX線検査と組み合わせることで、厚労省の方針であり、時期尚早と思われるが、今後検討したい。

**Q** 町民の健康と命を守るため、「挑戦の精神」で一步踏み出すべきでは。

**A** 保健課長 ピロリ菌抗体検診を「挑戦」する気概で検討したい。

※ふるさとテレワークとは 地方で暮らしながらICTを活用して都市部の仕事をする事。

### その他の質問

・若年層の自殺防止対策



胃内視鏡装置（町立病院）

# 問 道路維持修繕は

答 効率的に進めたい



木野山 孝志 議員

**Q** 町道・農林道維持修繕の、各地区での対応と実施計画は。

**A** 町長 倒木処理や崩土除去、路肩補修など緊急に行う施工委託については、年度当初単価契約を行い、各地区ごとに業者に指示を行い実施している。

また、緊急に対応が必要な場合は別途調整を行っている。平成27

年度当初予算には委託料3千万円、工事費3千万円を計上している。

**A** 建設課長 施工委託分は現地調査に基づき発注する。職員で出来るものは職員で行う。改修工事はある程度規模の大きいもので効果の高いものから行う。

**A** 副町長 基本的に3千万円を各地区に配分し、施工委託や改修工事の変動分は、予算の範囲内で調整している。

**Q** 年度初めにストックされた必要工事は一年で解消されていない。これが重なって緊急という大きな工事になっている。とて

年度初めにストックされた必要工事は一年で解消されていない。これが重なって緊急という大きな工事になっている。とて

も計画的に行われていないと思えない。

道路維持など社会資本を効率的に管理するためには、ライフサイクルコストを縮減する

長いスパンで費用を最小限にし、投下資本の効果を最大限にする必要がある。今後の道路維持補修改善方針は。

**A** 町長 地域ごとに緊急性の高い順に箇所選定を行い、限られた予算の中で効率的な維持修繕に努めた

い。町道は利用が多いので原点に返ってやるべきと思う。

**Q** 生活の一番の基盤であり、昔から引

継がれた道路である。どのように整備され

ているかがまちの姿勢をあらわす。道路のライフサイクルコストに

は、改修・維持修繕、利用者が不便と感じるもの、環境が上手く

いっていないと感じるものがある。修繕コストが少なかったら利用や環境のコストが上がる。長いスパンで管理して行く姿勢が必要だ。当初予算を組む

時、緊急対応の補正予算とのバランスを考えるべきだ。点検がしっかりできて計画性が持てるような予算を組むべきだ。

**A** 町長 そのとおりと思う。その点はよく理解している。修繕は意外性があり、なかなか思いどおりには行かない。



補修が必要な町道高蓋日別線



村上 克朗 議員

## 問 TPP対応の最重要策は

答 国・県の補助政策が出てから

**Q** TPP対応は、再生可能な農業対策と所得向上策を打ち出すことが、農業者の不安解消と将来展望に繋がる道だ。そのための予算措置をし、長期的な恒久対策の優先順位と実行策を計画することが必要では。

**A** 町長 TPPにどれだけの保護対策や国補事業があるのかを見きわめないと、町の対応はできない。国・県の政策が出てからだ。我々が先にする

のは本末転倒である。

**Q** TPPは、消費者には恩恵があるが、生産者は大きな打撃を受ける恐れがある。地域の宮農や農地の生産整備のインフラ事業にどう取り組むのか。

**A** 町長 生産基盤で再整備や水源確保などのハードやソフト事業面の整備はTPP対応の武器となる。

**Q** 農家の所得向上を果たすべき町の役割は。

**A** 町長 現状の玉米生産では海外の単収には勝てない。耕地拡大ではなく、付加価値生産、手間ひまかけて生産する野菜・果物・畜産などの複合経営にシフトを置く生産が大切である。

**Q** 「水田フル活用」に向け、来年度の飼料用米の多収性品種や、生産コスト削減に繋がる技術導入に重点を置くべきでは。

**A** 町長 国の対策は苦肉の策で、飼料稲の生産では儲からない。産業課長 国では意欲ある農業者に水田の汎用化、施設整備の無利子融資を考えている。

### 畜産農家支援

**Q** 国内飼料用米で育てた牛肉などが安全・安心志向として消費者に支持されている。地域ブランド施策に、新たな増頭需要創出を進め、繁殖牛の増頭の支援をするべきでは。

**A** 町長 畜産全体での助成では県下でもトップクラスである。ブランドとして繁殖牛を増頭していく。

殖牛を増頭していく。

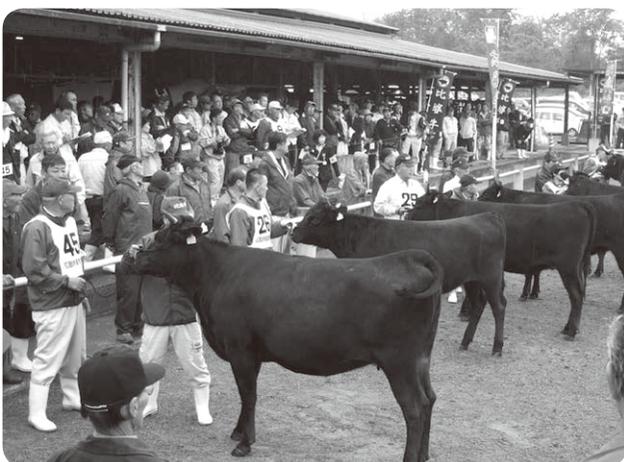
**Q** 「神石牛」を全国に通用する有名ブランドに発展させる為には、コントラクター（請け負い組織）の機能の高度化を図り、地域畜産の生産基盤・飼料基盤を推進するTMR（栄養価を考えた混合飼料）センターを考

**A** 産業課長 農業公社や有機農業を考

える会などが、コントラクターとして機能している。

**Q** 畜産クラスターの構築をするべきでは。

**A** 産業課長 新たな福山市と早期に立ち上げに向けた協議をしていきたい。



県共進会審査風景（三次家畜市場）

# 問 いつまでも安心して生活できる地域を

## 答 地域包括ケアを進める



松本 彰夫 議員

づくりのため、地域包括ケアを進めていく。

**Q** システムづくりの困難な事や政策課題は。

**A** 町長 医療・介護・福祉関係機関の連携をはかることや生活支援を担う民間企業など、地域資源の不足と自立困難な高齢者の住宅の確保などがある。

**Q** システムを戦略的に活用する方法は。

**A** 町長 コンパクトな町づくりへの発想の転換が求められる。

**Q** 財政も厳しくなるかと予想されるが、必要な地域包括ケアを進めるのか。

**A** 町長 最重要課題と考えている。自助・自立を第一に互

助、共助と公助を組み合わせ持続可能な制度を作り上げたい。

**Q** TPPへの対応は

**A** 町長 TPPによって、本町の農業も大きな影響を受けるが、町長の考えは。

**A** 町長 消費者は安い農産物を喜ぶかもしれないが、本町は、農業が基幹産業なので、大きな影響を受ける。政府は米について、輸入量に等しい量に相当する国産米を備蓄米として買い入れると言っているが、根拠がない。

具体的な対策が示されていない。

**Q** 農業のみならず、国民の生活に大きな影響を及ぼすものにも関わらず、国会にも国民にも十分な説明が

なされていない。国に対して、合意内容や国民に与える影響など公表するよう求めるべきではないのか。

**A** 町長 農業者の懸念と不安を払拭するためにも十分な説明責任を果たすべきと考

**Q** 農林業にどのような対策を講じるのか。

**A** 町長 国の方針が示されていない段階で具体的な政策は決まらない。付加価値の高い農業、輸入に強い果物、特にブドウやトマトは影響を受けにくいと思われる。攻めの農業、神石の特性を活かした農業を進めた



サロンでの和やかな時間（油木地域）



赤木 俊二 議員

## 問 町営寮の構想は

答 今後の動向を見ながら考える

**Q** 油木高校は、特色ある取り組みや、

中高一貫教育など町からの支援もあり、入学者数の増加を期待している。

しかし、町内の中学卒業生は減少傾向にあるが、町外からの生徒は増えている。入寮希望者は年々増えているが定員には限りがない。町営の寮を提供できないか。

**A** 教育長 現在連携型中高一貫教育校の指定を受けている。

今後とも地元率がより向上するよう取り組みをすすめていきたい。しかし地元の生徒数が減少していく傾向にあり、他市町からの入学者に期待せざるを得ないのが現状だ。

現在建築中の寮の定員は36人、定員を超えることも予想される。今後の動向を見極め、油木高校と連携を取りながら、本町としてできる支援策を検討していく。

どうか。

**A** 教育長 油木高校の入寮の基準は、

学校からの距離やバス停までの距離と家庭の事情などを総合的に判断して決定している。

現在の寄宿舎の入寮者は定員36人に対し32人で、内訳は町内が14人、町外が18人、平成27年4月では、希望者が定員よりも多かった。長期的な展望に立って油木高校をどのように育てていくかなど、町として長期的にどう支援していくかを考える必要がある。

**Q** 通学バス定期券の補助を増額といった支援策では解決しない。

将来に向けてぜひ、町営の寮を検討しては

県内の加計高校芸北分校の寮は、芸北地域の各種団体が運営委員会を結成し、廃校舎を利用して受け入れ態勢を整えているようである。

また、加計高校の寮は、ダムを造る建設工事の宿泊用の建物だったが、町が管理を受け、指定管理者が運営しており、建物はグループ団体宿泊研修施設だが、このうち2部屋をいわゆる寮のよう

な形で改修をしているようである。神石高原町で考えた場合どういった形でやっていくのがいいのか、今後の動向を見ながら考える必要がある。



新築した油木高校の寮

# 条例制定・改正 こんなことが 決まったよ

全会  
一致

条例の一部改正

・ 神石高原町税条例  
前納報奨金制度の廃止

全会  
一致

条例の制定

・ 神石高原町個人番号の利用等に関する条例  
マイナンバー法に伴う制定

全会  
一致

工事請負金額変更

・ 公営住宅建設事業  
● 工事名 小島住宅建替事業  
第1、2期新築工事  
請負者 宮脇建設株式会社  
請負金額 1億8943万2千円  
↓ 1億9513万4千円

全会  
一致

人事

・ 神石高原町教育委員会委員  
藤原 和 則さん(再任)

全会  
一致

専決処分した事件の報告

示談書を締結 1万7820円

全会  
一致

発議

・ 神石高原町議会の議員の定数を定める条例  
現在の14人から12人に2人減。社会環境の変  
化、町民の意見、議会の潤滑な運営を理由と  
した。

## まちの声

お願いします。

(61歳 女性)

○5月に転入してき  
ました。子どものス  
クールバスや学童保  
育その他の福祉が充  
実していて、大変住  
みやすい環境に感謝  
しています。これか  
らわかりやすい議  
会だよりをお願いし  
ます。(33才 女性)

(79歳 女性)

○空き家が増え続け  
ています。周辺の雑  
草が茂り、猿や猪が  
出て困っています。  
空き家対策を早急に  
お願いします。

(61歳 女性)

○人口減少に対する  
良い方法を考えて下  
さい。

(女性)

○空き家が多くな  
り、売りに出されて  
も交通面や環境が悪  
く購入されるのはむ  
ずかしいようです。  
老人や子ども達が自  
然の中で開放されて  
癒やされる場所とし  
て活用ができればい  
いと思います。

(女性)

### 第26回 議会クイズ当選者

三和地区  
小林 隆 文さん

スを利用していま  
す。病気をして車を  
手放したので不便で  
す。(65歳 男性)

○議員さんの活動や  
町の動きがよくわか  
ります。編集が大変  
だと思いますがこれ  
からも頑張って下さ  
い。(52歳 男性)

議会クイズに多く  
のご応募を頂きあり  
がとうございました。

励ましの言葉や厳  
しいご意見を頂いた  
事をしっかりと受け  
止めて、これからも  
ご期待に添えるよう  
に努力していきま  
す。

# 追跡 **ありゃあどうなったん？**

## 神石高原中学校 神石高原寮

平成26年4月7日に開校した神石高原中学校も2年目の3学期を迎えました。現在115人の生徒が勉学などに励んでいます。

神石高原寮は、平成26年4月7日の第1回入舎式では定員40人に対して7人の入寮者でした。しかし、平成27年4月7日の第2回入舎式では25人で、現在は30人を超えています。

寮生活では、規則正しい生活と、パソコンなどの整備された学習室があり、希望者は学習サポートを受けることもでき、またクラブ活動も十分に専念できる環境であるというのも魅力です。

生徒たちは、親元を離れさみしさも感じているでしょうが、先生や寮の仲間たちとの生活を楽しみながら、学力も向上してほしいものです。



寮生活を楽しんでいる生徒たち

## 政策提言

## 産業建設常任委員会

神石牛はまだまだ不足している状況であり、さらに増頭に向け、産業建設常任委員会では、次のことを町長へ提言した。

1. 保留導入補助金、現在17万円をさらに増額
2. 神石高原町肉用牛特別導入事業基金の見直しについて  
1頭当たりの購入限度額の増額
3. 町有牛貸付制度の新設  
町が繁殖のための素牛を購入・貸付をし、その後数年（希望は8年）で素牛を現物返還
4. 畜産クラスター制度の早期導入



政策提言を提出する藤田議長と横尾委員長

# 元気なグループ紹介だよ

## 三和地域体協 来見バレー部



来見バレー部は、来見地区に居住する女性で構成するバレーボールチームです。ママさんや独身女性、監督コーチを含め19人で活動しています。

結成から20年が過ぎますが、当時のメンバーも現在元気で活躍しています。

去年は6月に開催された三和地域体協の大会に向け、4月から練習を行い、この大会で優勝を勝ち取り、町大会にも参加することができました。

メンバーは、バレーボール以外でも大変仲が良く、体育協会主催の他の大会はもとより、PTA活動や地域行事においても積極的にかかわっています。女性チームと言うこともあり、どこにいても元気でにぎやかです。監督・コーチ（男性陣）はいつもタジタジです（汗）。スポーツに限らず、これからの地域運営においても女性の視点で来見地区を支えてほしいものです。

## 第27回 議会クイズ

《クイズ》空欄に適切な言葉をいれてください。

1. 議員〇〇2人減の12人で可決
2. 一般質問 新たな〇〇〇の教育は
3. 神石高原中学校〇〇〇寮

《ヒント》 議会広報をよく読んでね。

《応募方法》

ハガキに「答え・住所・氏名（ふりがな）・年齢」議会への要望・ご意見なども記入してください。正解者多数の場合は厳正な抽選により、1人の方に5000円分のこうげん通貨券をお送りいたします。

応募は、1人・1通に限らせていただきます。

《あて先》

〒720-1522

神石高原町小島二〇二五神石高原町議会議務局「第27回議会クイズ係宛」

《締め切り》

2月15日（月）消印有効

《個人情報取り扱いについて》

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送および『まちの声』などの目的以外には利用いたしません。

## 議会を傍聴してみませんか？ 次回の定例会は3月です

### 編集後記

暖冬予報のとおり今年の年末年始は穏やかでしたね。神石高原町もおだやかに2016年の幕が開け、協働のまちづくりに向け、町民・行政・議会が一体となった取り組みが重要となってきます。

議員定数も次期選挙から12人となり、一層気を引き締めて、町民に開かれた議会を目指して、地域の要望やご意見を受け止めていきたいと思えます。

議会広報常任委員会としても、皆様にさらに親しまれる、「みんなの町議会」を発行していきますので、これからも愛読をよろしくお願ひします。（素子）



椿

■発行 / 神石高原町議会

■編集 / 議会広報常任委員会

■発行責任者

議長

藤田晃己

■住所

／ 広島県神石郡神石高原町小島二〇二五

TEL 0847-89-3340  
FAX 0847-85-4201